

岡山県社会福祉

— 平成30年7月豪雨の被災地社協より リーダーと若手が語り合う。

特集 「ふだんからの災害支援のために、 これからの社協のあり方とは？」



目次

赤い羽根共同募金	5
県社協ニュース	6
被災地からの発信	10
『ふくし』の仕事人たち	12
SELP商品のご紹介	12



ももるんじゃー



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

URL : <http://www.fukushiokayama.or.jp/>
facebook : <https://www.facebook.com/fukushiokayama/>



2年ぶり開催「真備・船穂総おどり」





平成30年7月豪雨の被災地社協より リーダーと若手が語り合う。

特集



ふだんからの災害支援のために、 これからの社協のあり方とは？



平成30年7月豪雨から1年が経ちます。昨年、被災を経験し、今なお支援を続けている各社協の皆さんと一緒に、これからの地域福祉の推進に向けて、社協の災害支援における役割を考える場として座談会を企画しました。日々の地域福祉実践、今回の災害支援を通じて見えてきた課題を踏まえ、災害ボランティアセンターの運営だけでなく、発災直後から中長期的な視点で広く被災者の生活支援を進めていくにはどうしたらいいか、これからの社協のあり方について、それぞれの想いを語っていただきました。

（＊座談会は、2019年7月16日に本会にて開催しました。）



進行：山下弘彦さん
／日野ボランティア・ネットワーク

昨年の災害では、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議から派遣され、県全体の災害ボランティアセンターの運営支援等に当たる。現在は、岡山県くらし復興サポートセンターアドバイザーとしても被災地の復興に関わり続けている。

山下… 昨年からの災害支援をふまえ、社協として大事だと思っ
たこと、今後、力を入れてい
きたいことを教えてください。
水野… 被災地域に出て行く中で、
災害ボランティアセンター（以
下災害VC）についての情報が届
いていない精神障がいのある
方、引きこもりの方、または自
分で声をあげることができない
人達の存在を知りました。様々
な福祉専門職が、初動から訪問
調査等をしていたにも関わら
ず、十分な情報提供、連携がで

きなかったことは、今回の反省
点です。

今後は福祉専門職各々がもつス
キルやノウハウを、社協が日頃
実施している災害VC実施訓練
などを通じて共有し、被災地の
地域特性に配慮した「連携・協
働」の形を、皆が一丸となって
考えていくことが大切だと思っ
ます。

山下… 専門職の動きもそこに少
し風穴を空けるだけで変わって
くる。情報発信も把握も、ツー
ルをつきつめるだけでは不十分
と感じています。様々に孤立し
た状態にある方を支えるため
に、情報のあり方は考える必要
がありますね。

横林… 企業との連携がすごく大
事と感じました。高梁市は当初、
物資が全く入ってこない状況で



水野孝昭さん
／倉敷市社協
地域福祉係主事

した。ホームセンターも何もな
い。そんな中、災害VCの冷房
が壊れたときに地元企業にお願
いして、扇風機やスポットクー
ラーなどを提供してもらい助か
りました。青年会議所も運営を
手伝うよと声をかけてくれまし
た。これから平時の研修を考え
るときにも、物資だけでなく、
人材という意味でも連携してい
きたいです。

三宅… 今回は、災害VCの運営
に町の職員が応援に来てくれて
助かりましたが、NPOなどと
の連携は全くできていませんで
した。そういうこともあり、先

日、災害支援ネットワークおか
やまの報告会（※）に参加しま
した。町職員の応援が得られな
い状況も想定して、もっと住民
の方をはじめ多様な方と協力し



横林史典さん
／高梁市社協
地域福祉課長補佐

合える体制を作っていないと
いけないと思っています。

中井… 総社市は、市が全面的に
リーダーシップを発揮していた
ので、社協の要望にノーと言わ
れることはありませんでした。
行政との連携がスムーズで、ス
トレスなく動けたのは大きかつ
たです。あとは、地域に入って
いくと、すでに住民主体の災害
VCができていて、そこに後か
ら社協が関わるといったところが
いくつもあり、住民の方の意識
がとても高かったです。そうし
たところは総社の特徴だったの
かなと思います。

山下… 専門職、企業、NPO、
行政と話がでしたが、社協が
どういう人たちとつながってい
くかは大事ですね。

岡（県社協）… 多様な課題に対



石原寛大さん
／総社市社協
福祉活動専門員

※災害支援ネットワークおかやま……岡山県内において、災害時の民間による支援活動を効果的かつ協働して行うために、平時・発災時問わず取り組む、幅広いネットワーク。県内で災害支援に取り組む組織で構成しており、2019.4月現在、178組織参画。この7月に支援の報告会を開催。本会は世話人として参画。



中井俊雄さん
／総社市社協
事務局次長

応するために社協だけで全てで
きるわけではない、平時の関係
づくりを進めながら、社協はど
こを担うのかを考える必要があ
ると思います。

石原…僕は、今回得たものを特
に福祉教育に還元していきたい
と思っています。昨年の災害時
も多くの子どもたちの協力があ
りました。そうした思いやりと
か、助け合いの心を前面に出し
て伝えていきたいです。それと
合わせてボランティア講座や、
社会福祉法人の社会貢献のネッ
トワーク会議など平時の取り組
みも進めていきたいですね。

山下…色々な形で地域とつな
がっていく場面を作っていくこと
も大事ですね。藤本さんは、社
協という立場でもあり、ご自身
も被災されましたが、そうい



秋田展生さん
／倉敷市社協
事務局次長

心情もふまえながらどうですか。

藤本…ボランティアを受け入れ
ることに慣れていない地域も多
いので、そこへの対応も必要と感
じました。ボランティアでできる
範囲は限られているし、安くてき
るからお願いするのではない。そ
ういった点をどう伝えていくか。
また、避難所の運営も職員だけ
ではできません。避難者と一緒
に取り組んでいくことを考えてい
くことが重要だと思います。

山下…社協の役割を考えるだけ
でなく、地域の人と一緒に考え
て、学び合うということも大事
ですね。社協の支援といっても、
ボランティアありきではない。
被災者も助けてもらうばかりで
はない。そうした状況でもでき
ることはやっていくということこ
とをみんなで学んでいくのは社



藤本和義さん
／高梁市社協
事務局次長

協の取り組みとして、非常に重
要だと思います。広い意味での
福祉教育だと思うし、色々な方
に理解してもらうことで、災害
時の支援がしやすい環境につな
がるのではないかと思います。

秋田…今回は多くの方に助けら
れたが、被災場所や災害の種類、
規模によって次も助けてもらえ
るかは不定。それを考えると、
他組織と一緒に事業をするなど
して濃い関係を作ってつながっ
ておく必要があると考えていま
す。今回、毎年寄付をいただい
ているある宗教法人に助けられ
たケースがありました。社協職
員は、福祉関係者とのネット
ワークは得意だが、異業種は不
得手。他業種とのつながりの広
さと深さは出来ることの内容に
直結します。本当に困ったとき



三宅収さん
／矢掛町社協
事務局次長

に助け合える関係づくりを平時
から考えることが大事だと思
います。

山下…これまでの話をふまえ、
マニュアル等の策定も大事です
が、それ以前に、社協としてど
う支援するか、そのあり方を考
えることが改めて大事だと思
いました。



赤い羽根共同募金



— 岡山県共同募金会 —

ありがとうメッセージ

共同募金の助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」をご紹介します。

《子どもソーシャルワークセンターつばさ》

この度は、共同募金の地域ささえあいプロジェクトを通じ、たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。

おかげさまで、寂しい思いを抱えている子どもたちの居場所づくりや、様々な事情で社会的経験が不足している子どもたちへの体験事業を実施することができました。皆様のご厚意に感謝いたします。

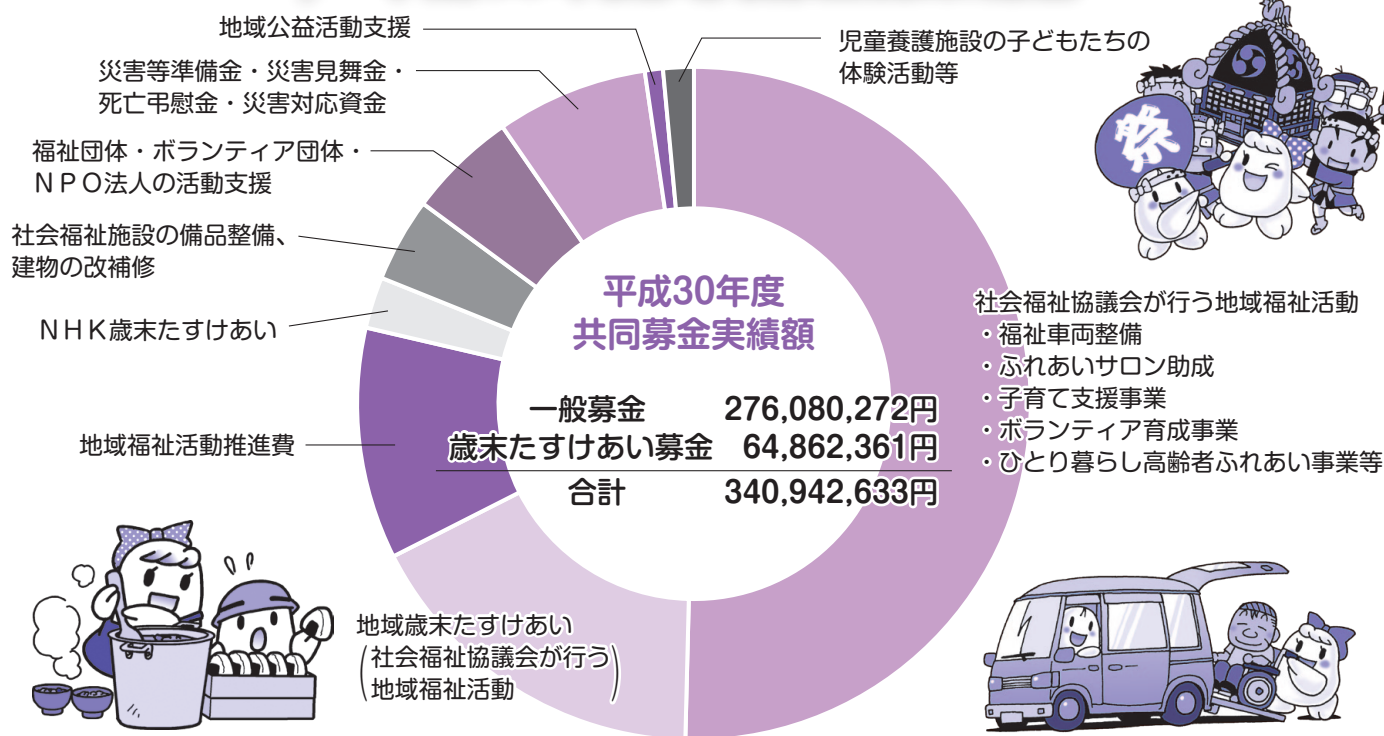
《わくわく祇園's》

この度、共同募金の助成金で、入浴サービス整備事業として、ストレッチャーを導入させていただきました。

おかげさまで、入浴サービスの延べ利用人数が増え、また、介護時の職員の身体的負担も軽減されました。

今後も、利用者の生活向上の為、有意義かつ大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

平成30年度共同募金結果報告



名鉄観光サービス株式会社

観光庁長官登録旅行業第55号
(社)日本旅行業協会正会員ボンド保証会員
岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

TEL:086-225-2771 Fax:086-225-7494 担当:中西・深井・三鬼

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい！

☆日帰りで豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いかな？

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな～！

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが・・・

旅行の事ならなんでもご相談ください。様々なご相談、見積、手配もいたします。





平成30年度 事業報告・決算報告

第7次岡山県社協経営・

活動計画（平成30年度からの5か年）の1年次となる平成30年度は、「県民主体および県民参画を基本とした福祉コミュニティづくり」を基本理念とし、4つの経営方針の達成に向けて、各種事業を推進しました。

【4つの経営方針及び推進目標事業達成率】（全体平均86%）

経営方針1	法人経営・運営組織の機能強化	87%
経営方針2	多様な主体の参画による福祉のまちづくりの基盤整備 地域を基盤とした総合相談・生活支援体制の整備・促進 社会福祉法人等における福祉サービスの質の向上	84%
経営方針3	人事・労務管理体制の充実強化	88%
経営方針4	財務基盤及び管理体制の整備	84%

経営方針1

組織「組織の実行力」

【主な成果】

◇内部管理体制の基本方針を制定

するとともに、会計監査人設置に向け、候補者を選定するなど法人のガバナンスの確保に取り組んだ。

◇経営企画委員会において、新規事業や経営・活動計画の評価方法の見直しについて専門的な見地から審議を行った。

◇本会会員の加入率向上に向け、加入勧奨を行った。

◇第2次広報活動強化方針に基づき、新聞等メディアを通じたPR活動に積極的に取り組み、約100件のメディア掲載があった。

◇7月豪雨災害への対応として、本会内に災害福祉救援本部を設置し、緊急支援体制のもと、被災地や関係機関等と連携を図りながら、災害ボランティアセンター運営支援など、支援活動を展開した。

経営方針2

活動「地域の福祉力」

【主な成果】

◇地区社協や福祉委員等の機能強化や小地域の支え合い活動、生活支援サービス等の促進を図った。

◇社協ボランティア・NPO活動支援センターアクションプラン2019（5か年プラン）を策定し、市町村社協ボランティアセンターの機能充実・強化を図った。

◇地域共生社会の実現に向けた福祉教育推進のあり方や多機関協働による福祉学習プログラムの検討を行った。

◇社会福祉法人等による地域公益活動の推進に向け、7市域において社会福祉法人ネットワーク組織の設置が図られるとともに、県域センターと連携・協働したモデル事業等の研究に取り組んだ。

◇多機関協働による制度の狭間の問題解決に向けた人材育成に取り組んだ。

◇災害支援ネットワークおかやまに参画し、多様な主体の官民連携による支援活動を展開するとともに、災害派遣福祉チームを組成し、要配慮者支援に取り組んだ。

◇くらし復興サポートセンターを本会内に設置し、市設置の被災者見守り・相談支援事業実施センターの後方支援や被災者支援に係る連携・協力体制の構築に取り組んだ。

◇小規模法人のネットワーク化による協働推進事業に取り組み、法人間連携プラットフォームの設置や、地域公益活動の取組に関する状況調査を実施し、法人の経営課題等の把握と共通認識を図った。

◇福祉の職場見学・体験ツアー等

を実施し、福祉の仕事の魅力や理解促進に取り組んだ。

◇福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程を新たに導入し、法人等における人材育成の体制整備支援に取り組んだ。

◇福祉・介護人材確保対策推進協議会において認証制度に関する事業の検討を行い、「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」制度を構築した。

経営方針3

人事・労務「人材の創造力」

【主な成果】

◇年度研修計画に基づく、個人研修計画を作成し、資質向上に努めた。

◇事務局企画調整会議をはじめ、部署横断の4つの検討班を設置し、計画の重点事業の推進に取り組んだ。

◇労働環境、雇用環境の整備を積極的に行い、働きがいのある職場環境づくりに努めた。

経営方針4

財務「経営の自立力」

【主な成果】

◇法人経営の安定化の為、自主財源の増強に努めるとともに、民間財源の有効活用を行った。

◇計算書類をホームページ上で公表し、より透明性の高い財務管理に努めた。

平成30年度 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会 決算報告の概要

事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目		一般会計					生活福祉資金 会 計	要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金会 計	生活福祉資金 貸付事務費会 計	臨時特例つなぎ 資 金 会 計
		社会福祉事業	公益事業	収益事業	計	内部取引消去				
サービス活動増減の部										
収 益										
会費収益	36,791,750	0	0	36,791,750	0	36,791,750	0	0	0	0
分担金収益	1,500,000	0	0	1,500,000	0	1,500,000	0	0	0	0
寄付金収益	9,002,334	0	0	9,002,334	0	9,002,334	0	0	0	0
経常経費補助金収益	121,169,199	7,860,000	0	129,029,199	0	129,029,199	0	0	30,428,000	0
受託金収益	170,126,173	9,455,000	0	179,581,173	0	179,581,173	0	0	0	0
貸付事業収益	0	0	0	0	0	0	2,705,710	0	0	0
事業収益	38,002,608	163,098,720	11,858,867	212,960,195	0	212,960,195	0	0	0	0
負担金収益	37,544,096	11,142,500	0	48,686,596	0	48,686,596	0	0	0	0
退職共済事業収益	0	33,292,000	0	33,292,000	0	33,292,000	0	0	0	0
その他の収益	29,607,258	0	0	29,607,258	0	29,607,258	0	0	0	0
サービス活動収益計(1)	443,743,418	224,848,220	11,858,867	680,450,505	0	680,450,505	2,705,710	0	30,428,000	0
費 用										
人件費	211,609,936	37,619,619	2,145,080	251,374,635	0	251,374,635	0	0	17,451,472	2,305,482
事業費	158,397,506	243,907,309	0	402,304,815	0	402,304,815	0	0	31,910,054	421,724
事務費	10,131,919	7,383,132	1,599,750	19,114,801	0	19,114,801	0	0	9,894,722	180,773
販売原価費用	0	0	6,114,051	6,114,051	0	6,114,051	0	0	0	0
分担金費用	1,353,000	0	0	1,353,000	0	1,353,000	0	0	0	0
助成金費用	35,479,337	10,424,300	0	45,903,637	0	45,903,637	0	0	0	0
負担金費用	7,461,240	7,386,000	0	14,847,240	0	14,847,240	0	0	0	0
減価償却費	6,081,290	2,729,276	0	8,810,566	0	8,810,566	0	0	839,395	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△81,462,012	0	△81,462,012	0	△81,462,012	0	0	△753,840	0
徴収不能額	0	122,896	0	122,896	0	122,896	0	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	0	0	0	0	0	13,168,982	0	0	0
退職共済事業費用	0	3,523,641	0	3,523,641	0	3,523,641	0	0	0	0
その他の費用	74,120	0	0	74,120	0	74,120	0	0	0	0
サービス活動費用計(2)	430,588,348	231,634,161	9,858,881	672,081,390	0	672,081,390	13,168,982	0	59,341,803	2,907,979
サービス活動増減差額(3=1-2)	13,155,070	△6,785,941	1,999,986	8,369,115	0	8,369,115	△10,463,272	0	△28,913,803	△2,907,979
サービス活動外増減の部										
収 益										
受取利息配当金収益	6,369,548	11,843,926	14	18,213,488	0	18,213,488	14,726,494	134	122	51
投資有価証券評価益	5,625,000	36,711,580	0	42,336,580	0	42,336,580	0	0	0	0
その他のサービス活動外収益	119,311	147,272,083	0	147,391,394	0	147,391,394	0	0	0	0
サービス活動外収益計(4)	12,113,859	195,827,589	14	207,941,462	0	207,941,462	14,726,494	134	122	51
費 用										
投資有価証券評価損	749,632	0	0	749,632	0	749,632	0	0	0	0
投資有価証券売却損	908,124	1,064,490	0	1,972,614	0	1,972,614	0	0	0	0
その他のサービス活動外費用	0	147,272,083	0	147,272,083	0	147,272,083	0	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	1,657,756	148,336,573	0	149,994,329	0	149,994,329	0	0	0	0
サービス活動外増減差額(6=4-5)	10,456,103	47,491,016	14	57,947,133	0	57,947,133	14,726,494	134	122	51
経常増減差額(7=3+6)	23,611,173	40,705,075	2,000,000	66,316,248	0	66,316,248	4,263,222	134	△28,913,681	△2,907,928
特別増減の部										
収 益										
事業区分間繰入金収益	4,939,504	0	0	4,939,504	△4,939,504	0	0	0	0	0
貸付資金補助金収益	0	0	0	0	0	0	18,000,000	0	0	0
生活福祉資金会計繰入金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	35,841,174	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計繰入金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	134	0
生活福祉資金貸付事務費会計固定資産移管収益	30,496,780	0	0	30,496,780	0	30,496,780	0	0	0	0
事業区分間固定資産移管収益	3,094,032	2,791,792	0	5,885,824	△5,885,824	0	0	0	0	0
一般会計固定資産移管収益	0	0	0	0	0	0	0	0	36,544,690	0
その他の特別収益	0	10,433,751	0	10,433,751	0	10,433,751	0	0	0	0
特別収益計(8)	38,530,316	13,225,543	0	51,755,859	△10,825,328	40,930,531	18,000,000	72,385,998	0	0
費 用										
固定資産売却損・処分損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	10,433,751	0	10,433,751	0	10,433,751	18,000,000	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(返還金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等返還金費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金費用	0	2,939,504	2,000,000	4,939,504	△4,939,504	0	0	0	0	0
生活福祉資金貸付事務費会計繰入金費用	0	0	0	0	0	0	35,841,174	134	0	0
生活福祉資金貸付事務費会計固定資産移管費用	36,544,690	0	0	36,544,690	0	36,544,690	0	0	0	0
事業区分間固定資産移管費用	2,791,792	3,094,032	0	5,885,824	△5,885,824	0	0	0	0	0
一般会計固定資産移管費用	0	0	0	0	0	0	0	0	30,496,780	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別費用計(9)	39,336,482	16,467,287	2,000,000	57,803,769	△10,825,328	46,978,441	35,841,174	18,000,134	30,496,780	0
特別増減差額(10=8-9)	△806,166	△3,241,744	△2,000,000	△6,047,910	0	△6,047,910	△35,841,174	△134	41,889,218	0
当期活動増減差額(11=7+10)	22,805,007	37,463,331	0	60,268,338	0	60,268,338	△31,577,952	0	12,975,537	△2,907,928
繰越活動増減差額の部										
前期繰越活動増減差額(12)	39,801,983	72,502,908	262,450	112,567,341	0	112,567,341	△157,051,204	0	6,199,539	△46,795,440
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	62,606,990	109,966,239	262,450	172,835,679	0	172,835,679	△188,629,156	0	19,175,076	△49,703,368
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0	24,403,508	0	0	0
その他の積立金取崩額(16)	13,657,756	1,064,490	0	14,722,246	0	14,722,246	4,246,508	0	0	0
その他の積立金積立額(17)	13,035,414	36,711,580	0	49,746,994	0	49,746,994	7,199,899	0	0	0
次期繰越活動増減差額(18=13+14+15+16-17)	63,229,332	74,319,149	262,450	137,810,931	0	137,810,931	△167,179,039	0	19,175,076	△49,703,368

一般会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	997,783,158	流動負債	27,710,825
固定資産	15,010,817,186	固定負債	12,910,866,664
基本財産	30,000,000	負債の部合計	12,938,577,489
その他の固定資産	14,980,817,186	純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	1,211,009,849
		その他の積立金	1,721,202,075
		次期繰越活動増減差額	137,810,931
		(うち当期活動増減差額)	(60,268,338)
		純資産の部合計	3,070,022,855
資産の部合計	16,008,600,344	負債及び純資産の部合計	16,008,600,344

生活福祉資金4会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	2,619,339,982	流動負債	1,225,028
固定資産	914,665,029	固定負債	35,347,546
その他の固定資産	914,665,029	負債の部合計	36,572,574
純資産の部		純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	3,337,694,025
		その他の積立金	357,445,743
		次期繰越活動増減差額	△197,707,331
		(うち当期活動増減差額)	(△21,510,343)
		純資産の部合計	3,497,432,437
資産の部合計	3,534,005,011	負債及び純資産の部合計	3,534,005,011

閲覧ができます

事業報告書、決算書は、本会ホームページ (<http://www.fukushiokayama.or.jp/>) または岡山県社会福祉協議会事務所において閲覧することができます。
【お問い合わせ先】 岡山県社会福祉協議会(総務企画部) 岡山市北区南方2丁目13-1-3F / TEL.086-226-2822

岡山県社会福祉協議会 役員就任のお知らせ

令和元年6月28日に開催された令和元年度定時評議員会において新役員が選任され、同日開催の理事会において正副会長等が選任されましたので、お知らせいたします。

(定数) 理事：14名以上18名以内・監事：2名

(任期) 令和3年度開催の定時評議員会の終結の時まで(概ね2年)

役名	氏名	所属
会長	足羽 憲治	学識経験者
副会長	内田 通子	(社福)岡山市社会福祉協議会
	財前 民男	(社福)クムレ
	高山 科子	岡山県民生委員児童委員協議会
常務理事	小川 敏朗	学識経験者
理事	虫明 正雄	(社福)倉敷市社会福祉協議会
	小山 了	(社福)津山市社会福祉協議会
	藤本 道生	(社福)岡山県共同募金会
	藤田 勉	(公財)岡山県身体障害者福祉連合会
	吉田 建太郎	(公財)岡山県老人クラブ連合会
	阪本 文雄	(社福)山陽新聞社会事業団
	松山 正春	(公社)岡山県医師会
	米良 重徳	(NPO)岡山NPOセンター
	中川 初美	(一社)岡山県婦人協議会
	服部 剛司	(社福)吉備のくに福祉会
	小泉 立志	(社福)鶯園 特別養護老人ホーム千寿荘
	間庭 浩二	(社福)千寿福祉会 吉備高原清和荘
	中谷 祐貴子	岡山県保健福祉部長
監事	吉松 裕子	元行政職員(社会福祉事業識見者)
	児島 正典	公認会計士(財務管理識見者)

会長就任のごあいさつ

会長 足羽 憲治



このたび、令和元年6月28日付をもちまして、会長に就任いたしました。

今日、少子高齢化や地域・家庭のつながりの希薄化が進むとともに、近年多発する災害への備えや社会的孤立、子どもの貧困等が社会問題になるなど、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの社会福祉の枠組みでは対応しきれない様々な課題が広がっています。

また、平成29年に改正社会福祉法が本格施行され、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務など、社会福祉法人を取り巻く環境も大きく変革しました。

その中であって、本会では地域福祉活動を確実かつ効果的に行うため、平成30年度から5年間計画として、第7次経営・活動計画(ほっとプラン)を策定し、計画に掲げる推進目標の達成に向け、諸事業に積極的に取り組んでいるところであります。

昨今、新たな課題解決に向けた取り組みが求められるなど、本会を取り巻く環境は、大きく変化してきており、会長という重責を痛感しているところでありますが、本会の果たすべき使命を自覚し地域福祉向上のため、役職員一丸となって取り組んでいく所存であります。

今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人 浦安荘の職員勉強会(令和元年5月17日)で講師をさせていただいた様子

【ご相談はこちらまで】
岡山県地域生活定着支援センター
TEL: 086-226-2840
FAX: 086-226-3557
MAIL: teichaku@fukushikayama.or.jp

岡山県地域生活定着支援センターでは、福祉施設・事業所等からの依頼に基づき研修会や勉強会への講師派遣を行っております。
「矯正施設を退所した障害者・高齢者への支援について、職員の理解がなかなか得られない」「触法者の受け入れをするに当たって不安がある」このような悩みについて、共に考える機会を作りませんか?

地域生活定着支援センター
からのご案内

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

- 専門家による支援
- 内部統制の向上に対する支援
 - 事務処理体制の向上に対する支援
 - 指導監査ガイドラインチェックサービス

- 会計サポート
- 記帳代行サービス
 - 試算表チェックサービス
 - 顧問契約サービス

お困りのことがあれば今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

〈受付時間〉9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

初回相談料
無料!



SCB
社福サポート
いじはら



専門員連絡会議：グループ討議の様子

去る6月12日（水）、きらめきプラザ（岡山市内）にて、県内の日常生活自立支援事業担当者他関係者約40名出席のもと、今年度第1回会議を開催しました。

会議前半では、主に新任職員を対象とした事業の基本概要、事務手続き等の説明、さらに県内社協の昨年度事業のふりかえりシートや、今年度事業計画をもとにしたグループ討議・情報交換を行いました。

後半では、専門員の資質向上に向けて事例検討を行いました。

今回は、『複数の生活課題を抱

【開催報告】
令和元年度
日常生活自立支援事業第1回
実施社協専門員連絡会議

え、他機関との役割分担に苦慮するケース』について、岡山県精神保健福祉センター所長 野口正行医師にスーパーバイザーを依頼し、専門的な観点も踏まえた検討を行いました。

【情報提供】県内社協の動き
新見市社協「新見市成年後見センター」を受託実施!!

新見市社協が、新見市から委託を受けて6月3日に「新見市成年後見相談センター」を開所しました。

除幕式には新見市行政幹部、担当職員をはじめ、同市社協職員も参列し、相談窓口の開設が祝われました。同市社協では地域の高

齢者・障がい者及びそのご家族等の相談に応じ、成年後見制度の利用等、適切な権利擁護の支援が行われるよう関係機関等と連携し相談対応を行っていくとのことです。



新見市成年後見相談センター除幕式 風景

参加者／絶賛募集中！

令和元年度 権利擁護フォーラム

～地域と福祉で創っていく
新しい時代の成年後見制度～

- 日時：令和元年8月30日（金）
10：30～16：00
- 会場：きらめきプラザ3階301会議室
- 対象：生活支援員、民生委員、市民後見人
社協職員、地域包括支援センター他
- 内容：主なプログラム
 - ▶基調講演『これからの成年後見』（仮題）
厚生労働省成年後見制度利用促進室
専門官 川端 伸子 氏
 - ▶先駆的取組紹介『親族後見人への支援』（仮題）
東京都新宿区成年後見センター
センター長 岡部 実加子 氏
 - ▶シンポジウム
『今後より身近で福祉の視点に立った
成年後見制度にするには？』
＜シンポジスト＞
認知症の人と家族の会 副代表 安藤 光徳 氏
井原市地域包括支援センター 井上 悟 氏
真庭市社会福祉協議会 土井 珠枝 氏

【問い合わせ／申込先】

岡山県社協 福祉支援部 ☎ 086-226-4145
※申込は所定の申込書にて FAX 086-226-3557迄

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画・製作

美術工房 シェード

社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412
〒703-8251 岡山市中区竹田17-13

全 天満屋トラベル

～ こだわりと心を込めたおもてなし「天満屋トラベル特選の旅」～

天満屋トラベル 検索

〒700-0821
本社所在地 岡山県岡山市北区中山下2-3-20 表町商店街天満屋前
TEL 086-231-7747 FAX 086-232-5701
〒702-8056
岡山岡南営業所 岡山県岡山市南区築港新町1-18-5
天満屋ハビータウン岡南店1階
TEL 086-261-4080 FAX 086-261-4082

企業と社協の連携



株式会社 智商ロジシステム(岡山市東区光津)

平成30年7月豪雨から1年が経ちました。今年度、「被災地からの発信」として、被災地を中心に活動している団体取材し、被災地の当時の状況や現状、今後について、情報発信していく予定です。第2回目の今号では、被災直後に県外から集まった資機材や物品の拠点として倉庫を開放してくださった株式会社智商ロジシステムの代表取締役の河合 智哉さんとスタッフの長谷川 香織さんにお話を伺いました。

((●)) 支援を決めたきっかけ

河合さんが災害支援を初めて意識したのは阪神大震災です。

発災直後の交通機関がマヒし混乱した中、尼崎に住む親戚に物資を届けに行ったことが始まりでした。川1本隔てただけの尼崎市と西宮市で被災状況や街の様子が全く異なっていたことが印象的でした。

その後、東日本大震災が起き、所属する中小企業家同友会として救援物資を届けることになり、山形県にある物流の拠点となるセンターへ物資の輸送を行いました。この経験がきっかけとなり、今後、中四国や九州で災害が起きた時に

は自社が拠点になります、と色々なところで言っていました。今回、まさか岡山県が被災することになるとは…。災害が少ないという神話を当たり前のように信じていました。よく考えれば、県内に一級河川が3本もあり、子どもの頃から大雨になればこの辺りは冠水しており、水害に弱いことは容易に想像できたのですが、言葉に惑わされた想定外の被災でした。

豪雨発生から3日後に支援団体や個人が集まり開催された災害支援ネットワークおかやま会議に参加しました。想いを同じくする人や団体と出会い、支援物資の拠点として倉庫を開放することにつながりました。3日間不眠の興奮状



態の中で話し込んだことを覚えて
います。

実際の活動を行ってみて

7月17日には、新潟の災害ボランティアネットワークから最大規模の資機材の提供が10トントラックで運ばれてきました。積み下ろしには大学生ボランティア等が集まりました。通常は人力で積み下ろすところ、フォークリフト等を使いスムーズに終わることができました。これは全国的にも珍しい連携となりました。と同時に専門家との関わり必要性を感じたところです。

そして、この場所から軽トラボランティアの方々が県内の災害ボランティアセンターへ資機材や想いを届けてくれました。ボランティアの方が軽トラックいっぱい資機材を積んで運んでいく姿を見た時、運送屋のプロである自分達にできることはないだろうか? と思いました。1〜2回の手伝いは可能であっても、ボランティアとして数ヶ月間継続して手伝うには限界があります。事業として行うにはやはり予算が必要です。予算を組んだ上でトラック協会等へ話を持っていけば良かった、というのが今回の反省です。

スタッフの長谷川さんは、自身も各所へ支援物資の提供を行いました。

県内の広範囲が被災したこと
で、市町によって情報共有や対応に差があり、とても動きにくかったです。目の前に物がたくさんあり、必要としている人も多くいるにも関わらず届けることができないアンバランスな状態がもどかしかったです。

また、被災者からのニーズや状況は刻一刻と変化します。今回、SNS等を利用してダイレクトに情報を得ることができましたが、正確な情報をどこかで集約する仕組みが必要だと思っています。

災害から1年が経ちますが、復興の現状についても地域で差があり、未だ手つかずのところも見られ、まだまだ支援が必要だと感じています。

今後の想い

物流企業なので物を運ぶのは当たり前。では、ただ運べば良いのか。今後、生き残る企業になるには、選ばれる企業になること。そのためにも、運ぶから何ができるかを常に考え、領域を拡げていく予定です。

災害が多発する近年、様々な分



野でBCP（事業継続計画）の策定が進められています。製造業においては、広範囲の災害に備えて、製造拠点の提携を結ぶところも増えています。複数拠点を支えるには物流は不可欠です。計画策定の段階からもっと他業種と関わることでできないか、と考えているところです。

災害時に連携するにはまず日頃からコミュニケーションが大切だと思います。それは、社会福祉協議会にも言えることです。どの企業が何を得意としているか、日頃からリサーチをし、有事の際に積極的につないでほしいです。

今回の経験を次につなげ、行政・社協・民間が三位一体となつて、今後も活動していきたいと思っています。

通信で
社会福祉士をめざすなら

第31回国家試験
合格率 37.8 %
広島県内 第1位 (通信5校中)
※全国平均 29.9% (社会福祉振興・試験センター調べ)

教育訓練給付金利用により 授業料 50% 給付

学校法人 穴吹学園
anabuki 穴吹医療福祉専門学校

福山 穴吹 社会福祉 検索
2020年度 入学生募集中!

TEL 084-931-3325

統合型勤務管理システム

勤務表プロ

人の作成手順に沿った勤務記号の自動割付機能

自動割付機能と手順の標準化で勤務表の作成時間を大幅短縮
予定作成から勤怠管理まで全データを一元管理

予定作成、実績管理、勤怠管理
常勤換算、タイムレコーダー連携

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、保育福祉

業務効率化・働き方改革 支援ソフト!

プロシステム株式会社
☎ 06-6305-8811

勤務表プロ 検索



『ふくし』の 仕事人たち

vol.45

施設・団体等で働く「ふくし」の仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。



真庭市民生委員児童委員協議会

会長 三船 昌行 さん

【人から「意外！」と言われる特技】
「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得。趣味で友人や団体の旅行計画を立てることができる。

①「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

かつて教員をしていた頃、夕食を食べさせてもらえない子ども問題で、地域の人や関係機関の皆様の援助で解決したことがあり、民生委員の声がかかった時、恩返しの意味を込めてお引き受けしました。子どもをめぐるとは、今も改善しているとは言えないのが、非常に残念です。

②今、主にどんな活動をしていますか？

高齢者世帯への声かけや見守り、児童の登下校時に、交通指導挨拶運動等を行っています。会長としては、民生委員の皆さんが活動しやすい環境づくりや、組織の円滑な運営に気を配っています。

③福祉の仕事の魅力はどんなところですか？

また、真庭市社協理事・広報委員長としては、仕事熱心な担当の職員さん達と協議して、毎月発行「まにわ社協だより」の充実に努めています。できるだけ動きと表情のある写真や、読者がもっと知りたいと思う記事を難易度のバランスをとりながら深掘りする等を心掛けています。

人口減少社会を迎え、真庭市は国連のSDGs未来都市の指定を受け、持続可能な社会を創るための取り組みを展開中です。困難な案件やプレッシャーもありますが、民生児童委員も地域を支えるネットワークの一員として、住民に寄り添い安心安全な生活環境を求めて、やりがいを持って活動し、誇りと喜びを体得したいと思っています。

たまに関係者から感謝の言葉を頂けるのが一番の励みになります。

④今後、どんな「仕事人」になりたいですか？（今後の抱負、トライしてみたい仕事など）

現在、真庭市公共交通会議の委員をしています。自家用車を使えない人達が病院や買い物に行ったり、高校生が通学するのに便利なコミュニティバスのあり方は重要な課題です。利用者の目線で民生児童委員としての知恵を出していきたいと思っています。

また、災害時の対応も重要です。地域が万一被災した時のマニュアルを関係機関と協議しながら更新し、平時からの備えを心の準備も含めて整備していきたいと思っています。



SELP商品の紹介

社会福祉法人 旭川荘

たがはし障害者支援センター
松山ワークセンター（就労継続B型）

松山ワークセンターの「小さな菓子工房Cotoli（コトリ）」。Cotoliはcook（作る）、together（一緒に）、liberal（おおらかに）の頭文字を合わせた造語で、小鳥のように羽ばたいてほしいとの願いを込めています。

国産の小麦やバター、新鮮鶏卵を配合した生地に、地元の「高梁紅茶」、岡山県内産の「ほうじ茶」「黒大豆」をそれぞれ使用。「バター」「チョコチップ」を加えたら種を定番商品として販売しています。今後も物語を紡ぐように、新しい味を高梁から届けていきたいと思っています。



- 商品名／Cotoli 物語 焼き菓子セット
- 通常販売価格／230円～250円
- ギフトセットも受け賜ります
- 内容量／クッキー 各種 5枚入り
- アーモンドチュイル 40グラム
- 賞味期限／製造日から40日
- 原材料表示／小麦粉、無塩バター、三温糖、卵、グラニュー糖（高梁紅茶・チョコチップ・黒大豆きな粉・ほうじ茶・アーモンド）

問い合わせ先
高梁市落合町阿部253-1-111
TEL 0866-222-7110
FAX 0866-222-7128



機関紙
「岡山県社会福祉」への
ご意見・ご感想を
お寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にSELP商品紹介事業所の商品をプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■郵送
〒700-0807
岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会
機関紙編集部

■FAX
086-227-3566 まで
なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

夏といえば、我が家では家族旅行が恒例行事となっています。子どもたちも指折り数えて楽しみにしているようですが、上の子は来年から中学生。いつまで一緒に家族旅行へ行ってくれるのか？タイムリミットを間近に感じるようになってきました。